

# 今月末の出展申込締切に向け、問い合わせ急増!

11月開催

食品産業を支える5つの専門展示会

本年11月11日(水)から13日(金)までの3日間、東京ビッグサイト東ホールにて、食品産業の複合展「FOOD展2026」が開催される。本展は、相互に関連する5つの専門展「給食・大量調理」「食品衛生」「工場設備」「食品物流」「惣菜製造」で構成。さらに本年は、「DX」「冷蔵・冷凍」「サステナブル提案」に着目した3つの横断企画を設置し、出展者・来場者双方に新たな商談機会を創出する。秋口の販促・来期の営業を見据えた食品業界向けの大規模商談展示会として、出展申込締切を目前に控え問い合わせが急増。本誌では各展の特色や本年の傾向を紹介する。

## “実質本位”な商談の場として

FOOD展は「食の複合展」として、幅広い業界・業種が交わることで独自の価値を築いてきた。昨年の来場者数は2万名弱に達し、コロナ禍以降で最大値を記録するなど、関係者の満足度も着実に高まっている。こうした評価は業界内にも幅広く浸透。秋口に開催する食品業界への希少なPRの場として、例年以上に出展に関する問い合わせが増加している。

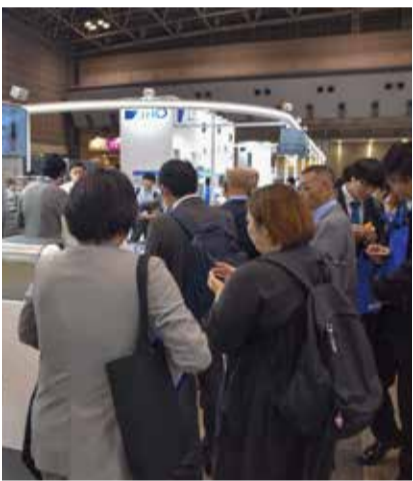
とりわけ、出展を継続するほかに出展者の評価は高まる傾向にある。「展示会後に大型案件の受注につながった」「過去に出会った来場者と数年越しの取引開始が実現した」といった常連出展者の声が、同業者の出展意欲を駆り立てているようだ。こうした実績を積み重ね、FOOD展は単なる情報発信の場ではなく、成果につながる展示会として存在感を示す。加えて、複合開催の強みを生かしたバリエーション豊かな来場者としてくると実質本位な商談ができる点も大きな魅力として評価されている。



## 昨年好評を受け、復活出展が増加

昨年は、主催体制のリニューアルを契機に、中西製作所が再び出展し、大きな話題となった。今年も、AIHO、タニコー、日本調理機など大手厨房メーカーを中心に、盤石の布陣での開催が期待される。昨年の好評を受け、回転釜メーカーとして名高い桐山工業など、復活出展に踏み切る企業も後を絶たない。いっぽう、ボイラーメーカーの三浦工業が、昨年の出展成果を鑑みて展示スペースを大幅に拡張。十年來の常連企業にもポジティブな動きが目立つ。新規出展ではエスペックが低温ショックフリーザーを大量調理現場へ提案したいと意気込んでいる。

年に一度の学校給食市場に向けたPR・商談の場として、各社の出展検討はますます加速しそうだ。



## 病院・福祉分野を大幅強化

フードシステムソリューション(FSYS)は、病院・福祉給食関係者へ向けた貴重なPRの場としても存在感を高めている。慢性的な人手不足を背景に、省人化・効率化につながる設備やシステムへの関心は高い。出展検討各社も商機を見込んでおり、加熱水蒸気分野で注目を集める濠谷工業の出展が新たに決定したほか、新規参入の企業からの問い合わせが相次いでいる。

また、石川祐二氏(茨城キリスト教大学教授)を部会長とする「病院・福祉専門部会」を組織し、現場課題に即した企画を推進。本年から日本医療福祉センターラルキッチン協会が参画し、さらなる体制強化を図った。このような中、病院・福祉給食関係者の来場促進策として「再加熱カート特別展示」が新企画として始動。有力メーカーであるエージーピーがいち早く出展に関心を示すなど、好調な出足となった。出展者による展示に加え、特別展示を実施することで、病院・福祉給食関係者の動員を一段と強化していく。



## 惣菜×冷凍に注目

共働き世帯の増加や簡便・即食ニーズの拡大を追い風に、惣菜業界は今なお力強い成長を続けている。スーパーや中食市場では、差別化商品や省人化対応への投資が加速しており、惣菜専門展である惣菜・デリカJAPAN(SDJ)への注目度は依然高い。

そうした中、今年は従来の設備・機器にとどまらず、食材メーカーの出展が伸長。売場提案やメニュー提案を強化する動きが広がり、相乗効果を狙った冷凍機械メーカーの動きも本格化している。

惣菜市場のニーズを捉え、冷凍・再加熱・省人化運用までを一体で提案する流れが加速しており、新規参入を目指す各社の出展競争が熱を帯びている。

## 今後の出展申込について

今月末の出展申込締切に向け、さまざまな問い合わせが相次いでいる。事務局では、会場レイアウトに着手する6月末日までを一つの区切りとし、可能な限り柔軟に出展申込を受け入れる方針だ。ただし、会場スペースにも限りがあるため、出展を検討している場合は、まずは事務局に問い合わせをほしいと呼びかけている。



## 現場の省人化・効率化を目指す 再加熱カート導入促進コーナー

一般社団法人 日本医療福祉センターラルキッチン協会

特別協力

IH式

電子レンジ式

熱風式

加熱水蒸気式



食品衛生といえば  
FSJ

異物混入や食中毒事故など、食品衛生を巡るニュースは後を絶たず、「食の安全・安心」への対応がこれまで以上に求められている。フードセーフティジャパン(FSJ)は2010年から一貫して、食品衛生の課題解決を担う専門展として開催。課題を抱えるユーザーの期待に応えながら、着実に知名度を高めてきた。近年は「品質管理部門と直接商談できる展示会」として認知され、FSJ再活用の動きが活発化。過去に出展した企業が、再提案や新製品訴求を目的に出展するケースが増えており、FSJへの期待値の高さがうかがえる。残留塩素計を市場投入するイワキや、衛生設備メンテナンスで有名な赤門ウイレックスも、そうした復活出展企業の一例だ。

いっぽう、本年注目ポイントの筆頭、カビ・細菌対策分野では総合衛生管理を手がけるアール・シーウメハラが初出展。ビッグホワイ、エコノス・ジャパンなど実績豊富な企業も続々と参画。滅菌・殺菌分野では、岩崎電気、東芝ライテックが薬剤を使用しない紫外線殺菌システムを提案する。また、衛生資材分野では、モレーンコーポレーションによる使い捨てニトリルグローブや、高砂によるHACCP対応資材など、現場視点の多様な製品が揃う。

食品衛生ソリューションが一堂に会するFSJは、品質・衛生管理担当者にとっては必見の場。出展企業もさまざまな製品レパートリーで課題解決に役立ていく。食品衛生分野における認知向上・販路開拓の場として、今年のFSJからも目が離せない。

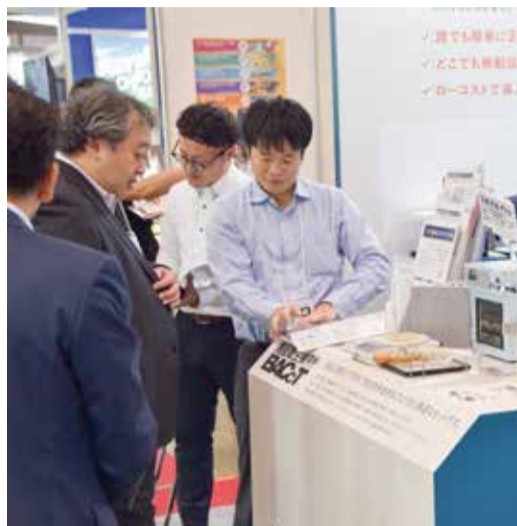


食品工場の改善提案が続々

フードファクトリー(FF)は、食品工場の設備改善・生産性向上をテーマに「生産技術・工務部門」に向けた提案の場として高い支持を集める専門展である。

2月の出展募集開始から好スタートを切り、大手商社のマクニカが早期に出展を決定。残渣・汚泥の再資源化といった「サステナビリティ化」をテーマに、初出展ながら大規模スペースでの展示で存在感を示したいとしている。加えて、アプロスによるパレイタイザの展示やアンリツの継続出展が決定するなど有力企業の参画が止まらない状況だ。さらに近年は、食品工場の設計・改修ニーズへの関心も高まっている。こうした流れを受け、エンジニアリング分野では、三和建設や日清エンジニアリングが早々に出展決定。ほかにも、食品メーカー系エンジニア社が出展準備を進めるなど、展示の核となるエンジニアリング企業も好調である。また、函館市・旭川市・千歳市の出展が決まるなど、工場新設・改修に関わる企業立地分野もより一層充実しそうだ。

例年、出展者からは「普段なかなか会えない生産・工務担当者の来場が多く、案件につながりやすい」と評価は高く、出展検討の問い合わせはまだまだ続きそうだ。



横断企画との相性◎  
食品物流の課題解決へ

国内初の食品物流専門展であるフードディストリビューション(FD)。ドライバ不足や燃料費高騰から、食品物流業界も例に漏れず、省人化・効率化の必要性が一層高まっている。食品物流は、厳格な温度管理や短納期対応など特有の制約が求められる。これらの課題解決ニーズを背景に、本年も多様なソリューションを持つ出展者が集結してきた。

食品特化の物流システムを提案するF・LINEが初出展を決めたほか、低温度帯対応コンテナでは三菱ケミカルインフラテックと多田プラスチック工業、保冷剤を扱うスギヤマゲンが継続出展するなど、コールドチェーンに対応した出展者はさらに充実。そのほか、DX化ニーズを受け、一括検品システムのAUDERやAI自動発注のinfoneruなど多様なDXソリューションをもつスタートアップの参入も続いている。

今年も食品メーカーの物流部門、食品卸、スーパー・コンビニ関係者など、実務に直結する来場者との貴重な交流が見込まれる。

5展横断企画で新たな価値をプラス

食品産業の「現場の悩み」をデジタルで解決する

**FOOD-DX**

出展対象

- 栄養管理DX
- 衛生管理DX
- 設備管理DX
- 物流管理DX
- 惣菜製造DX etc...

食の全工程を支える、コールドテクノロジーの最善線

**FOOD-COLDTECH**

出展対象

- 冷凍調理機
- 食中毒対策
- 温度管理・計測機器
- 冷凍食品製造機器
- 冷凍冷蔵DC設備 etc...

サステナビリティ提案を最大効率化

**FOOD-ECOX**

出展対象

- 省エネルギー・脱炭素ソリューション
- 省資源・水資源対策
- 食品ロス削減・廃棄物削減
- 再資源化・循環型ソリューション
- サステナビリティ対応ソリューション etc...

5展横断企画限定  
オープンステージセミナー  
好評につき残り枠僅か、  
詳細は事務局まで！

¥429,000(税込) / 1小間+オープンステージセミナー1セッション  
5展横断企画(「FOOD-DX」「FOOD-COLD TECH」「FOOD-ECOX」)の出展者限定で、オープンステージセミナーを無料・先着順でご提供(希望制)。貴社のソリューションに関心を持つ質の高いリードの獲得が可能です。展示エリアとステージの相乗効果で、商談成約率を一段と引き上げます。



※写真はイメージ

お急ぎください！

出展にご関心のある方は今すぐ事務局までご連絡ください。

FOOD展事務局 ☎ 03-3503-7661 ✉ office@food-exhibition.info